

○御家族の意見

・防災、災害時対応に関すること

災害時対応ノートは相談事業所等が主体で作成しないと家庭では作成できないと思う。災害が起きた時に、災害のために電源等準備していた人の支援が後回しになって、無知で何も準備していない人の支援が先になってしまうことはとても悲しいことだと思った。最重度身体障がい者（児）は自分の家庭だけが災害に対して準備していても、助からないと思う。

災害時に助けてくれる人がいない。車いすに乗っていてスーパー等で買い物をしていると邪魔者扱いをされる。コロナ対策には十分なお金をかけるのに障害者対策は置き去りにされている。下肢麻痺になった時、障がい者になるかどうかすら分からず、情報発信が不足している。買い物に出られないので宅配サービスを充実してほしい。タクシーありきの生活では交通費がかさみ生計を維持することが難しい。旧市街地に居住の方、新市街地に居住の方との交通費を平等にしてほしい。中古車でいいですから車いすが乗れる福祉車両購入への助成を希望します。

今まで大きな災害もなく、これからも何事もないことを願い、気を付けていきたい。

災害の時、どこに避難していいか分かりません（水害の時）

一般企業に就職するための支援の充実。災害時の支援サポートの充実。介護保険負担金の減額。（各町村で違いがあると思いますが、病気やケガは突然起きるもの。所得で決定しないようお願いしたい。

・福祉サービスの質の向上を求める。・家族にもサービス提供がしっかりと見えるようになってほしい・個別避難計画も作成されたとしても実際のどの程度役立つのか不安がある・グループホーム等、親泣き後の安心につながる社会にしてほしい

今の所私達両親も元気なのですぐに利用するという訳ではないですが医療ケアがあっても利用出来るデイサービスや入所施設の情報が必要です。あと災害時が心配です。日常的に医療が必要なので避難場所には行きづらく（全て必要な医療機器や薬、注入道具を持参したとしても）ハードが高いです。とても危険で絶対に避難した方が良いという状況になったとしてもぎりぎりまで家にいる事を選ぶと思います。

防災についてももう少し整うと良いなと思っています。うちの地区、くんれんはあるのですが、同じ地区にねたきり、高齢ひとりぐらし、医ケアある人、障害ある人等全く共有されないし、不安に思っています。イザというときは、いのちより個人情報の方が大事なんてことはないはず…もう少しふみこんだ個別計画や訓練の実施をおねがいしたいです。

医療ケアが必要な子どもが18才以上になった時に利用できるようなデイサービス等を増やしてほしい。災害時に呼吸器等の必要な子どもの日有南場所や介護者の確保等について、もっとアドバイス等して欲しい。家族が主で動かないとサポートが何もうけることができない。もう少しサポート←今後の福祉サービスの利用、災害時の対応方法等ろしてくれる人がいるとうれしい。

支援計画は立ててもらっているが、個別避難計画までは立ててもらっていない。災害がおきたとき、どうしたらいいのか、とても不安に思う。避難の方法、どこに避難するか場所、何がいつおきるかわからない今、考えないといけないと思うが、どこに相談してよいかかわからない。

特別支援教育を充実させてほしい。障がいの特性に合ったカリキュラム。福祉避難所の数を増やし、当事者に場所を教えて欲しい。どこが福祉避難所か、知らない。障がい者や家族が、地域や職場で差別されない環境を作って欲しい。週1回障がい児・者の外来診療時間を作って下さい。歯科は、鳥取・米子は毎週木曜日の午後障がい児の外来診療時間があります。宜しくお願い致します

・自然災害が多い近年、いかに避難が困難か考えさせられました。

医療費の支援をして頂きありがとうございます。現在は病状が安定し、普通の生活を送ることが出来、ありがたいです。心配なのは大きな災害時、非難生活になった場合の食事（アレルギー対応食）です。低脂質、低残さ食乳製品の代替品等

子どもの将来が気がかり。自分たちの死後どういった生活をおくったらいいか不安。個別避難計画というのを始めて知った。作成したい。自立しないといけないのはわかるが、自立も難しい特性の子もいる。帰宅できないことや、自転車の練習をしないのはなぜか？聞かれ重度の知的があるから、そもそも難しいこと話しているのにも関わらず、それでも練習するべき、練習をさせてないことがおかしい！というニュアンスで言われたことがある。日中一時を利用する際も1日7,000～8,000円程の町費を使用するのだから、1人での留守番もさせるべきだと話された。困っていて相談に行っているのに、町費使っているのも申し訳ないと思うが、子どもの現状を含めて話してほしい。2～3年で職員の移動があり、新しい人になると、また一から説明して理解してもらわないといけない。理解してもらえる頃にまた新しい人。引きつぎ等をどうにか、考えてほしい。このアンケート結果の公表も希望します。

・中山地区、名和地区、大山地区の地区ごとでいいので避難訓練を実施してほしい。災害が起っていないので、経験はないですが、避難場所生活や人数、会場の雰囲気等知っておきたい。・相談事業所の相談員の方は計画や支援会議等でお忙しくされていて、連絡がとれない。又、相談させてもらう時間もなさそうで遠慮してしまう。相談員の方を増やしてほしい。・今回、初めて知ったサービスもあるので、どのようなサービスがあるのかわかりやすく教えてくれる機会が欲しい。・一般企業の障害者枠で就職する場合、障害者枠で入ったのに、企業のまわりの方々の理解がないと聞きます。障害者枠で入った以上は、企業側さんは、理解をしてほしい（企業側さんへの発達障がい理解の研修などもしてほしい）

我が家は親子（母・子）での生活をしておりますが、母の私は長い間心療内科通院、呼吸器内科通院をよぎなくされております。そうした身体での障がいの娘を世話するのはとても大変な事です。ですのでせめて何かのとき（災害とか・・・）あそこに、あの場所で母子が生活していると、障がいの家族マニュアル（行政の方のしえんのじょうほう）として作成していただくと、どれだけ障がいの親は安心、安全で日々生活ができる事でしょう。すでにされていたらすみません・・・よろしく願いいたします。

災害の時が心配。どのようなサービスがあるか、そのサービスを利用できるか教えてほしい。市役所などに行けば、何回もみたいな感じで話されるから、自分達は分かっているから分かりやすくしてほしい！

台風や大雨で避難勧告が出ても、福祉タクシーで移動するしかなく、また避難先に電源がないと人口呼吸器や加湿器が動かせないため、自宅で過ごすことになりそうです。

災害時のポータブル電源の購入を助成してほしい

でも業者を通さないといけないなら自分が要望している種類の物が買えなかったり正規の価格で買わないといけないので結局、購入学が高くなるからネットなどで購入しても補助してもらえるような制度を作してほしい